

4 段階評価	4 期待以上	3 ほぼ期待どおり	2 やや期待を下回る	1 改善を要する
--------	--------	-----------	------------	----------

学校経営 ビジョン	笑顔と思いやり、意欲あふれる永久津っ子の育成 ～ 学校・家庭・地域が一体となって147年の絆をつなぐ ～
--------------	---

項目	本年度の重点目標と 目標達成のための手段	具体的な 数値目標等	具体的な取組 【学びたい度 80% (R1 75%)】	自己評価		結果の考察・分析および改善策
				取組別	総合	
知育	【目標】 学力向上 (子どもの将来を見据えて今の学びを考える) ◎ 児童主体の「楽しく」「分かる」「できる」授業をめざし、これからの社会の変容を意識し、児童の将来を見据え責任をもった学習指導を展開することによって、学力のさらなる向上を図る。 【手段・具体的な取組】 1 主体的・対話的で深い学びの創造と確実な振り返り 2 職員相互の認め合いと学び合い 3 立腰指導の徹底と基本的学習習慣の定着 4 家庭学習習慣の定着と放課後子ども教室との連携強化	1 について ・「わかる」まで教え、できるまで「見届ける」授業	1 について (1) 1 単位時間の授業の充実、指導内容の精選、個に応じた指導の充実に取り組んでいる。 (2) 本年度は、コロナウイルス感染症のため、システムが可動しなかったため、実施できなかった。	3	3	1 について ○ どの教科においても、読解力の向上を意識した指導を行い、個に応じた分かりやすい授業の実践に努めた。今後もさらに個に応じた授業の充実を図り、分かる授業の改善に努めていきたい。 ○ 今年度は実施できなかったが、昨年度実施のプリントを復習などで活用した。今後もさらに定着を図るためのきめ細かな指導を行っていきたい。
		2 について ・年間 1 回以上の授業公開 ・CRT 前年度比 10 ポイントアップ	2 について (1) 全員が授業公開を実施 (国語) 職員相互の学び合い (2) 校時程に学力向上のための時間を設定し取組を継続している。 ※ CRT 1 月実施			2 について ○ 全員が公開授業を実施し、授業改善・授業力向上を図ってきた。(国語) ○ CRT テストについては、1 月実施のため、実施後に分析を行い、指導に役立てていきたい。
		3 について ・児童の自己評価 (立腰) 80% 以上 ・鉛筆の正しい持ち方 80% 以上	3 について (1) 月目標に設定し、全体指導や学級での指導を継続した。 ※ 立腰における児童の自己評価: 65% (よくできている、できている) ※ 鉛筆の正しい持ち方における児童の自己評価: 63% (よくできている、できている) (1・2 年生の調査結果) 7 月調査 42% 10 月調査 50% 12 月調査 63%			3 について ○ 立腰については、指導を行ったが、目標値を達成することはできなかった。再度職員での共通理解を図り、授業での積極的な言葉かけを行い、児童の意識化を図っていきたい。 ○ 鉛筆の持ち方については目標に達することができなかったが、今後も継続し、80% 以上を目指したい。
		4 について ・家庭学習の実態調査による定着	4 について (1) 毎月、保護者の協力を得ながら家庭学習の充実に取り組んでいる。			4 について ○ おおむね目標を達成でき、全体的によく取り組んでいる。

		度の個人評価 80%以上	※ 家庭学習に関する調査 児童：92% 保護者：68% 教職員：60% (2) 放課後子ども教室と連携を図りながら家庭学習に取り組ませている。			今後は個別の指導を充実し、児童の自己評価 100%を目指していきたい。今後はさらに保護者への習慣化の啓発を図りたい。 ○ 今後も放課後子ども教室との連携を図っていきたい。
徳育	【目標】豊かな心の教育推進 (生徒指導3機能生かした認める指導と体験活動の充実) ◎ 道徳や特別活動、こすもす科との関連を踏まえた体験活動の推進による、豊かな感性と思いやりの心の醸成。 【手段・具体的な取組】 1 自己を見つめ、多面的・多角的な見方を育む道徳科の推進 2 基本的生活習慣の意義を考えさせる指導と定着の推進 3 日本一の読書県宮崎の推進 4 集会・バースデー給食による命の教育と心のふれあい推進	1について ・学校支援ボランティア活用 年間700人	1について (1) 2月末現在 480人の活用 読み聞かせ、学習支援など	3	1について ○ 本年度は、行事や学習活動が実施できずにボランティアの活用が計画通りにはできなかった。活動内容の見直しや活用方法を検討していきたい。	
		2について ・基本的生活習慣に関する中学校との共通実践項目に関する児童の自己評価 80%以上	2について 挨拶指導 集団登校 集団下校 避難訓練 (避難経路確認 風水害 地震 火災) 雨の日の過ごし方 栽培活動 教育相談 ワックスがけ IF委員会 休み時間の過ごし方 縦割り清掃 清掃指導 クラブ・委員会活動 レクリエーション集会	3	2について ○ 学校職員への挨拶はよくしているので、児童の意識としてよくできているという評価になっている。 しかし、保護者や職員の評価との意識のずれがあることから、地域の方や来客、保護者への積極的な挨拶が十分できているとは言えない。誰にでも進んで挨拶できるよう継続した指導が必要である。 ○ 縦割りでの清掃活動や、定期的な清掃班編成と担当による指導により、児童相互の豊かな人間関係づくりにつながっている。	
		3について ・年間一人100冊以上の読書量	3について (1) 図書担当教諭、学校図書館協力員による読書指導を継続して実施 (2) 図書委員会の取組により多読賞の表彰や読書推進活動として、読書ビンゴなど行った。 (3) 12月末現在：一人平均104冊 ※児童の自己評価75% (1週間に1回本を読んでいる)	4	3について ○ 月2回の朝の時間に、地域ボランティアの方々による読み聞かせを本年度も実施している。児童も楽しみにしている。 ○ 学校図書協力支援員が、図書の貸し出しや図書館設営を行っている。新刊図書を工夫して紹介するなど、児童の読書意欲を高める工夫を行ってきた。 ○ 12月現在、図書の総貸出冊数は6864冊で一人平均104冊である。さらに貸出冊数が伸びるよう、読書意欲を高めていきたい。	
		4について ・バースデー給食を毎月実施	4について ※ 校長先生より、一人一人に直筆のバースデーカードをプレゼント	3	4について ○ 本年度は、校長室での会食は実施できなかったが、バースデーカードによる心のふれあいができた。	

体育	<p>【目標】健やかな心体の育成 (生きる力の元となる健康・体力を意識して)</p> <p>◎ 体力向上プランを意識した授業・体育的行事・日常の体育的活動を通して、基礎体力の向上と健康的な生活習慣の定着を図る。</p> <p>【手段・具体的な取組】</p> <p>1 体力・運動能力の向上</p> <p>2 危険予知・回避能力の育成と地域・保護者との連携</p> <p>3 保健指導の充実</p> <p>4 家庭・地域との連携</p>	<p>1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体力テスト分析による改善方法の策定と実践 Tスコア50以上の割合 70%以上 ・体育授業に関する教師の自己評価 80%以上 	<p>1について</p> <p>(1) 体育の授業で運動量を確保するなど授業改善に取り組む。</p> <p>教師の自己評価：72%</p>	3	3	<p>1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本年度は、体力テストの実施ができなかった。また、運動内容の精選により、全体を通して全領域の運動が思うように実施できなかった。 ○ 体力テスト実施により、課題を把握し、課題に対する取り組みを推進していく。 ○ 体育の授業を中心に体力向上の取組を図るだけでなく、家庭での取組について定期的な取り組みを促す必要がある。
		<p>2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練や安全点検に関する教師の自己評価 80%以上 	<p>2について</p> <p>(1) 定期的、具体的な避難訓練や安全点検を実施する。</p> <p>(2) 雨の日の過ごし方の指導を行う。</p> <p>日常の交通安全について指導する。</p>	3		<p>2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 定期的に想定外まで考えさせながらの避難訓練を実施している。児童は真剣に取り組み危険予知を行いながら自分の命を守るための行動について考えることができた。実践意欲にもつながっている。 ○ 毎月1回、安全点検を実施し、修繕等も計画的にできた。
		<p>3について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・むし歯治療率 70% 	<p>3について</p> <p>(1) 2月末現在</p> <p>むし歯治療率 66.7%</p> <p>※ 治療が終わっていない児童への個別指導と保護者への治療の勧めを実施</p>	3		<p>3について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ むし歯治療率は昨年痔に比べると治療率は少し上がった。しかし、保護者への虫歯治療の啓発があまりできなかった。今後も個別の指導を行いながら更に治療率を高めていきたい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・全員出席 100日以上 	<p>4について</p> <p>(1) 2月26日現在 127日</p> <p>(登校日を含めると136日)</p>	4		<p>4について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本年度は、コロナウイルス感染症対策により、欠席がすくなかった。手洗い・うがいの徹底が図られた。今後も養護教諭と学級担任が連携を図り、換気や手洗い・うがいを呼びかけるようにしていく。

食育	<p>【目標】望ましい食習慣の育成 (食は生きる源)</p> <p>◎ 様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実現することができる基礎を育てる。</p> <p>【手段・具体的な取組】</p> <p>1 伝統的な食文化や食習慣を振り返る授業の展開</p> <p>2 食育指導の充実</p> <p>3 HPによる情報提供(今日の給食コーナー)</p>	1について	1について	3	3	1について	
		2について	2について			3	2について
		3について	3について			3	3について
		<ul style="list-style-type: none"> 農業体験や食育の日と関連した家庭科授業の実施 学校支援ボランティアとの連動 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 6年生は、JA主催のそばプロジェクト(種蒔き・収穫・そば打ち体験) 			<ul style="list-style-type: none"> 本年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により臨時休業となったことや日程調整がうまくいかなかったこともあり、5年生の稲刈り及び6年生のそばプロジェクトは実施できなかった。 低学年では、生活科において野菜作りを実施し、学校での調理を行った。また、持ち帰った食材で調理を行った家庭もあった。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 給食に関する児童の自己評価80%以上 養護教諭による食育指導(全学年で実施) 食育の日2回、チャレンジクッキング2日実施 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 給食を中心とした食育指導を実施 児童の自己評価：89% (2) 2学期以降、全学年で養護教諭・栄養教諭による食育の授業を実施予定。 (3) 食育の日を2学期以降検討。チャレンジクッキングは希望者のみで実施。 			<ul style="list-style-type: none"> 好き嫌いなく食べる児童が多く残食がほとんどなかった。日常の給食指導では学級担任を中心に食に関する指導の充実を図ってきた。 本年度は新型コロナウイルス感染症等により栄養教諭と連携しての食育授業が実施できなかった。 給食時の放送で郷土料理の紹介をすることで地域の料理や地元の食材など関心を高めることが出来た。年間2回の「食育の日」や長期休業中の「チャレンジクッキング」を実施し、各家庭で積極的に取り組んでいただいた。 		
	<ul style="list-style-type: none"> HPによる情報提供(毎日) 	<ul style="list-style-type: none"> (1) ホームページに毎日記載 			<ul style="list-style-type: none"> 食育に関する取り組みの様子をホームページで紹介するなど情報公開に努めた。 		

次年度の方向性についての校長所見	<p>本年度は、年度当初より新型コロナウイルス感染症対策等により、当初計画されていた行事や活動が延期、もしくは中止、規模を縮小しての実施となった。その中で、できることを検討し、活動の見直しができた。次年度は、with コロナの考えのもと、保護者や地域の協力を得ながら児童の健全育成に繋がる活動を展開していきたい。</p>
------------------	--